

【目的】

本実践は、静岡聖光学院高等学校に在籍する高校2年生(2クラス)を対象にした英語授業実践である。英語運用能力と対話的学びを深めるため、教材としてAFP通信が提供する「AFP World Academic Archive」及びAFP通信の配信素材をベースにした「AFP World News Report 5」を使用した。

「AFP World News Report 5」では、「AFP World Academic Archive」の映像ニュースをベースに、持続可能な開発目標に関連した問題を実際に世界で起こっている出来事について英語を通して学ぶことが目的である。

【実践と効果】

本校ではタイの公立CRPAO校主催の国際サミットにオンラインで代表生徒数十名が参加し、cyberbullyingやgenderについてアジア諸国の代表生徒とともに講演を受け、ディスカッションを通してお互いの意見を交換した。

代表生徒のいる対象クラス(高2)にて、サミットを通して学んだことと関連付けて“Call out sexist language and behavior(ジェンダー平等を実現しよう)”のテーマに取り組んだ。そこでは、実際に見聞きした内容とニュースとの整合性やリアルな問題意識があり、代表生徒を中心にクラス全体でディスカッションが活発になった。学ぶべき内容だと生徒が認識したことで、本テキストの問題文やスクリプト、映像のリスニング・ディクレーションにも力が入った。よりオーセンティックなニュース記事を題材に取り扱うことで、深く考えディスカッションをするモチベーションを作る効果があった。